

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム「くにみの里」

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 2 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者、家族からの意見や要望が、職員と共有できていない。	入居者や家族の思いや気づき、意見を増やし共有する。	・面会時に本人の生活状況を説明し、遠方におられる家族には電話連絡など活用して日頃の様子を報告を行うことで、家族からの思いや意見をひきだしやすくする。 ・計画書に思いや希望を明記する。	6ヶ月
2				・計画書の評価や進行状況、新たな気づきや変化を伝える。	ヶ月
3	35	有事に備え、地元の消防団との協力体制を深める取り組みをする。	地域での協力体制を作る。	・地域の集まりに参加できるように、集会等の予定を把握し出席する。 ・くにみの里の災害対策を理解して頂く。 ・意見をいただき、防災訓練を共同で行う。	12ヶ月
4		備蓄品管理表の作成と、全職員への周知をし、管理・整備しやすい様に取り組む。	緊急時に備え、災害対策用品と備蓄食料の一覧を作り、管理・整備を行うとともに全職員に周知をする。	・必要物品の一覧を作り、購入・保管する。 ・使用期限や食料品の保存期限の長いものを備蓄品に加える。 ・月に一度、動作確認や賞味期限の確認を行い、保管場所に表を設置し周知する。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。